

令和元年度  
2019年

# 江工会 理事会・総会

期日 令和元年5月11日(土)  
2019年

会場 理事会 = 江工会館  
(15:30~16:30)

総会 = 会館吾妻  
(17:15~20:00)

島根県立江津工業高等学校  
江工会

1. 開会の挨拶
2. 会長挨拶
3. 校長挨拶
4. 議事（議長：会長）
  - (1) 平成 30 年度事業報告
    - 1) 理事会・総会
    - 2) 支部総会
    - 3) 江工会入会式
    - 4) 江工会報第 53 号の発行
    - 5) 工業教育の振興
  - (2) 平成 30 年度決算報告（案）および監査報告
  - (3) 令和元年度事業計画（案）
    - 1) 理事会・総会
    - 2) 支部総会
    - 3) 江工会入会式
    - 4) 江工会会報第 54 号の発行
    - 5) 工業教育の振興
  - (4) 令和元年度予算（案）
  - (5) その他
5. 令和元年度江工会各支部、事務局について
6. 閉会の挨拶

## 4. 議事

### (1) 平成30年度事業報告

1) 臨時役員会 平成30年5月8日(火) 会館吾妻  
役員改選についての審議が行われました。

2) 理事会・総会 平成30年5月12日(土) 会館吾妻  
土井正人会長(工化科S39年卒)の挨拶から始まり、29年度事業・決算報告、30年度事業・予算審議など、すべての議案が承認されました。また、役員改選が行われ、土井会長(留任)、藤田副会長(新任)、岡本副会長(新任)、福田副会長(新任)、佐々木監査(留任)、池田監査(新任)、砂田顧問(新任)が選出されました。  
懇親会では、各支部からの出席もあり、親交を深めることができました。

### 3) 支部総会

◇山口県支部総会 平成30年4月15日(日) ホテル西長門リゾート  
大屋節雄支部長(工化科S38)の挨拶、前年度の事業や決算の報告、本年度の事業計画や予算について審議され承認されました。また、来年度の総会担当地区の関門地区に引継ぎが行われました。本部より、土井会長が出席しました。

◇関西支部総会 平成30年6月9日(土) ホテルヴィスキオ尼崎  
橋本克己支部長(建築科S42年卒)の挨拶、学校の近況報告の後、事業報告、監査報告、が審議され承認されました。本部より、土井会長、田村教頭が出席しました。

◇浜田支部総会 平成30年6月9日(土) ジョイプラザ  
松浦三男支部長(電気科S40年卒)はじめ、20名余の会員の出席がありました。本部より、三浦事務局員が出席しました。

◇益田支部総会 平成31年1月18日(土) ちるちるみちる駅前店  
大石 環支部長(建築S38年卒)はじめ、16名が出席されました。総会では事業報告、監査報告が審議され承認されました。  
また、新支部長として堀 義春支部長(建築科S40年卒)が就任されました。

◇関東支部総会 平成31年2月17日(土) 霞が関ビル35階東海大学校友会館  
小笠原万正支部長(建築科S51年卒)はじめ、77名の会員が出席されました。  
総会では、本年度の事業報告、決算の報告、次年度の事業計画、予算についての審議がありました。本部より、土井会長、岩田事務局長が出席しました。

4) 江工会入会式 平成31年2月28日(木)  
建築・電気科40名、機械・ロボット科32名が新たに入会しました。

5) 江工会報第53号の発行  
◇発行部数：2000部(発行日 平成31年2月17日)

6) 工業教育の振興  
◇島根県工業教育研究会への助成  
◇江工会館運営会計への助成

様式第7号

## 平成30年度 決 算 書

江工会一般会計

## 1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 繰越金	1,384,969	0	1,384,969	1,384,969	0	平成29年度繰越金
2 会費・入会金	777,600	0	777,600	774,902	2,698	卒業生72名分(2700円未納有り) 利息分含む
3 寄付金	10,000	0	10,000	30,000	△ 20,000	関東支部、関西支部より
4 繰入金	0	0	0	0	0	
5 雑収入	31	0	31	916	△ 885	定期利息端数、預金利息
収入合計	2,172,600	0	2,172,600	2,190,787	△ 18,187	

## 2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 工業教育振興会費	10,000	0	10,000	10,000	0	県工業教育振興会へ助成
2 会報発行費	150,000	0	150,000	129,600	20,400	会報53号 2000部発行
3 記念品費	40,000	0	40,000	34,200	5,800	卒業生への角筒72名分
4 会館運営費助成	150,000	0	150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	35,000	0	35,000	19,168	15,832	総会案内、会報送送料
6 旅費	300,000	0	300,000	213,540	86,460	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000	0	200,000	70,000	130,000	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000	0	30,000	0	30,000	
9 雑費	30,000	0	30,000	25,540	4,460	江工後援会立ち上げ総会 場費、広告料
10 積立金	200,000	0	200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	1,027,600	0	1,027,600	0	1,027,600	
支出合計	2,172,600	0	2,172,600	852,048	1,320,552	

収入総額 2,190,787円 - 支出総額 852,048円 = 差引残額 1,338,739円

江工会積立金状況 H31年3月31日現在 ¥3,739,523のうちよ銀行定額預金があります。




上記の通り決算報告いたします。

平成 31年 4月1日

監査の結果適正に処理されていることを認めます。

平成31年4月22日

平成31年4月25日

会計責任者 江工会事務局員 沖田 照晃 校内監事 馬 上 卓 二 会計監査委員 佐々木 一郎 会計監査委員 池田 隆 可 

## 江工会積立金状況詳細表

ゆうちょ銀行定期貯金

預入年月日	預入金額	照会日	元利合計	備考
平成29年2月7日	2,057,000		2,057,349	江工会館建替積立金定期貯金
平成29年2月7日	304,000		304,051	80周年名簿会計より定期貯金
平成30年7月3日	566,000	平成31年4月18日	566,077	60・70周年記念名簿会計より定期貯金 10年満期により掛替H30/7/3
	206,000		206,028	一般会計積立費より定期貯金 10年満期により掛替H30/7/3
平成30年2月21日	200,000		200,018	一般会計積立費より定期貯金
平成31年2月14日	206,000		206,000	一般会計積立費より定期貯金 10年満期より掛替H31/2/14
平成31年2月14日	200,000		200,000	一般会計積立費より定期貯金
合計			3,739,523	

元利合計金額は、平成31年3月31日現在の貯金利子額合計をゆうちょ銀行にて計算していただいております。

令和元年度事業計画 (案)

1) 理事会・総会 令和元年5月11日(土)

2) 支部総会

- ◇ 山口県支部総会：平成31年 4月21日(日) 翠山荘
- ◇ 関西支部総会：令和元年 6月 1日(土) ホテルヴィスキオ尼崎  
岡本副会長、沖田事務局員が出席予定
- ◇ 浜田支部総会：令和元年 月 日( )
- ◇ 益田支部総会：令和元年12月予定
- ◇ 関東支部総会：令和 2年 2月16日(日)
- ◇ 弥栄支部総会：令和 2年予定

3) 江工会入会式

- ◇ 令和元年2月28日(金)を予定

4) 江工会会報第54号の発行

- ◇ 発行部数：2000部 発行予定日：令和2年2月15日頃予定

5) 工業教育の振興

- ◇ 島根県工業教育研究会への助成
- ◇ 江工会館運営会計への助成

## (4) 令和元年度予算(案)

2019年

様式第1号

## 令和元年度(当初・変更)予算書

江工会一般会計

(単位 円)

## 1. 収入の部

項目	予算額	補正額	補正後 予算額	前年度当初 予算額	増減	備考
1 繰越金	1,338,739		1,338,739	1,384,969	△ 46,230	H30年度からの繰越金
2 会費・入会金	691,200		691,200	777,600	△ 86,400	H31年度卒業生64名分 10800円×64名
3 寄付金	10,000		10,000	10,000	0	
4 繰入金	0		0	0	0	
5 雑収入	61		61	31	30	
収入合計	2,040,000		2,040,000	2,172,600	△ 132,600	

## 2. 支出の部

項目	予算額	補正額	補正後 予算額	前年度当初 予算額	増減	備考
1 工業教育振興会費	10,000		10,000	10,000	0	県工業教育振興会へ助成
2 会報発行費	150,000		150,000	150,000	0	会報54号 2000部発行
3 記念品費	40,000		40,000	40,000	0	卒業生への角筒64名分
4 会館運営費助成	150,000		150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	35,000		35,000	35,000	0	総会案内、会報送送料
6 旅費	300,000		300,000	300,000	0	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000		200,000	200,000	0	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000		30,000	30,000	0	
9 雑費	30,000		30,000	30,000	0	広告料
10 積立金	200,000		200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	895,000		895,000	1,027,600	△ 132,600	
支出合計	2,040,000		2,040,000	2,172,600	△ 132,600	

(5) その他

1) 各支部より

・ 関東支部より、会則の改正案について (別紙)

## 5. 令和元年度 江工会各支部・事務局について

1) 支部および支部長

	支 部	支部長	卒業期	住 所 (備考)
県 内	江津支部 (川本・大田・温泉津・邇摩の各支部を含む)	池 田 隆 司	昭 43.3 建築	江津市二宮町神主 1962-72
	江津市役所支部	佐々木 克	昭 54.3 建築	江津市江津町 1155-3
	日本製紙ケミカル支部	三 浦 秀 和	昭 48.3 機械	江津市嘉久志町イ 1121-1
	桜江支部	藤 田 厚	昭 43.3 電気	江津市桜江町鹿賀 279
	川本支部	南 山 稔	昭 33.3 建築	邑智郡川本町川下 2713
	浜田支部 (金城・三隅の各支部を含む)	岡 本 正 友	昭 46.3 建築	浜田市片庭町 254-37
	弥栄支部	森 下 政 昭	昭 53.3 建築	浜田市弥栄町都賀口 336-1
	益田支部	堀 義 春	昭 40.3 建築	益田市戸田町イ 487
県 外	関東支部	小笠原 万 正	昭 51.3 建築	東京都東村山市恩多町 2-14-3
	関西支部	橋 本 克 己	昭 42.3 建築	大阪府大阪市西淀川区姫島 3-14-6-5
	山口県支部	大 屋 節 雄	昭 38.3 工化	山口県岩国市平田 2-2-40

※ 邑智、松江、出雲、広島、岡山、四国、名古屋の各支部は休会中。

2) 事務局

- ・ 山本 均 (昭 50.3 電気) 学校事務職員
- ・ 倉本 晃 (昭 51.3 機械)
- ・ 三浦 大治 (昭 58.3 機械)
- ・ 岩田 泰典 (昭 63.3 電気) [事務局長]
- ・ 沖田 照晃 (平 4.3 電気)
- ・ 三好 良 (平 17.3 建築)

## 令和元年度 江工会事務局役割分担

係 名	内 容	係 員
企 画	会議、行事等の計画立案	◎岩田 沖田
庶 務	諸会議の進行、記録、文書発送	◎岩田 三浦 沖田
会 計	一般会計、終身会費積立金会計	◎沖田 (一般会計) ◎三好 (終身会費積立金会計)
会 報	江工会会報の発行、支部等への発送	◎三浦 三好
(会館運営) 使用受付	(江工会館の運営、維持管理) 使用受付簿管理	江津工業学校 総務部
名 簿	名簿発行に備え会員の掌握に努める	◎岩田 沖田 倉本

## 6. 閉会の挨拶



# 江 工 会 会 則

(名 称)

第1条 本会は江工会と称して事務局を島根県立江津工業高等学校内に置く。

(目 的)

第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展を助成し、併せて実業界に貢献することをもって目的とする。

(会 員)

第3条 本会は次の会員をもって組織する。

- 正 会 員 1. 島根県立江津工芸学校卒業生  
2. 島根県立江津工業学校卒業生  
3. 島根県立江津工業併設中学校卒業生  
4. 島根県立江津工業高等学校卒業生 (別科を含む)
- 準 会 員 島根県立江津工業高等学校在校生
- 特別会員 上記母校の現旧職員

(事 業)

第4条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会誌、会員名簿の発行
- (2) 会員相互連絡提携
- (3) 母校事業の後援
- (4) 支部活動の支援
- (5) その他目的達成に必要な事業

(役員の種類等)

第5条 本会は次の役員を置く。

- (1) 名誉会長
- (2) 会 長 1名 本会を代表し会務を総括する
- (3) 副 会 長 4名 会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する  
(副会長1名は島根県立江津工業高等学校長とする。)
- (4) 理 事 若干名 企画、庶務、会計等本会の要務を処理する  
理事は理事会を組織して次のことを行う。
  - ① 予算、決算の審議
  - ② 本会の行う事業についての審議
  - ③ 会長の諮問する事項の審議
- (5) 会計監査 2名 会計、事務の監査に当たる
- (6) 評 議 員 各期各科より1～2名  
同期会員の動静を掌握し、事務局との相互連絡につとめる
- (7) 事務局員 若干名 江工会の事務を担当する
- (8) 顧 問 若干名 本会の会務に適切な指導助言を行う

(役員任期等)

第6条 役員を選出方法及び任期は下記による。

- (1) 名誉会長 総会で選出する。
- (2) 会長、副会長 総会で選出する。
- (3) 理 事 総会で選出する。
- (4) 会計監査 会長が委嘱する。
- (5) 評 議 員 各期各科の会員で互選する。
- (6) 事務局員 江工会員で会長並びに名誉会長の同意を得て委嘱する。
- (7) 顧 問 会長が理事会の同意を得て委嘱する。
- (8) 上記役員任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。

(財源・会費)

第7条 本会の経費は会費及び寄付金、その他をもって当て、会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

会費 入会金 1,800円

終身会費 9,000円

ただし、在校生(準会員)は月額300円を在学中積立て、入会金、終身会費に当てるものとする。

(総会)

第8条 定期総会は5月中の土曜日とし、次の事項を議決する。

ただし、理事会の決議があった場合は臨時総会を開くことがある。

議決は出席者の過半数をもって決する。

- (1) 会則の改正
- (2) 事業計画並びに収支決算の承認
- (3) 事業報告
- (4) 資産の管理に関する事項
- (5) その他必要と認められた事項

(除名)

第9条 会員で本会の体面を汚すような行為のあった者は理事会の議決によって除名することができる。

(動静)

第10条 会員は住所、氏名及び動静に異動を生じた時は、その都度本会の事務局又は所属支部へ連絡するものとする。

(支部)

第11条 支部に関する事項は下記の通りとする。

- (1) 支部を新設しようとする場合は、会則及び会員名簿を添え本部に届け出ること。支部を廃止しようとする場合はその理由を付し本部に届け出ること
- (2) 支部には支部長を置き、支部長は本部の理事とする
- (3) 支部は本会則に準じ会則を制定し独立の経理を行うものとする
- (4) 支部は本部と常に密接なる連絡を保ち、本部より報告を求められた事項は所定の期間内に回答すること
- (5) 総会には支部長又は代表者が出席しなければならない。出席できない場合は委任状、又は議案に対する意見書を提出しなければならない。
- (6) 総会における議案は欠席支部の意見も考慮して協議し、多数の賛成を得たと認められたものは決議事項とする
- (7) 支部より本部に報告すべき事項は下記の通りとする
  - ① 会員の異動
  - ② 役員の変更
  - ③ 決議事項
  - ④ その他必要事項
- (8) 支部総会を開催する場合、本部より役員が出席することができる。

(慶弔)

第12条 会員の慶弔は下記による

- (1) 死亡
  - ① 会員死亡 弔電をもって弔意を表することができる。
  - ② 役員死亡 会長、副会長の協議によって弔意を表することができる。
- (2) 慰労
  - ① 江工会役員として永年勤続した者に感謝状を贈呈することができる。
- (3) (1)及び(2)以外の事由で特別に慶弔の必要が生じた場合、理事会においてこれを決定する。
- (4) 第12条の会員とは正会員及び特別会員をいう。

- この会則は、昭和 26 年 1 月 2 日から施行する。  
改正 昭和 37 年 2 月 1 日から施行する。  
改正 昭和 39 年 1 月 24 日から施行する。  
改正 昭和 40 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 昭和 41 年 4 月 23 日から施行する。  
改正 昭和 42 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 昭和 44 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 昭和 54 年 6 月 10 日から施行する。  
改正 昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。  
改正 昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。  
改正 平成 9 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 平成 10 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 平成 15 年 5 月 16 日から施行する。  
改正 平成 27 年 5 月 9 日から施行する。  
改正 平成 28 年 5 月 21 日から施行する。

第三代竹川校長の折に、葛原しげる氏に作詞を依頼し、同氏から、当時、東京音楽学校教授、橋本国彦氏に作曲を委嘱した。昭和十八年十一月二十日、校歌の原本がとどけられた。同校長は早速上京して、作者を訪ね、親しくその意図を聴取された、すなわち

我が校舎をつつむ自然環境 旭光を浴びてそびえる星高山に高い理想を、白砂青松に千古不易の節操を、日本海の逆まく怒濤に雄しさと不屈不撓の精神を象徴させたものである、と。その後、時代の急変にもなつて、昭和二十五年十一月、作詞者の手によつて、歌詞の一部は修正されたが、その主題は一貫したものである。

島根県立江津工業学校 校歌

葛原 幽 作詞  
橋本 國彦 作曲

一、旭光燦たる星高山と

我等の学舎理想は崇し。

世界導き天地に

光満たすと創造の

歩みに窮めん真理の高嶺

挺身報國皇民の誓

角の浦回に心身練りて

二、常緑永劫榮ゆく松に

至誠至忠の啓示ぞ深き。

紺碧流す江の川

怒濤万里の日本海

質実剛健矜も永久に

不撓の雄叫び競うか我と

我等の学舎使命は新た

一、旭光燦たる星高山と

我らの学舎 理想は崇し

世界に あまねく歓喜を

光を 満たすと 創造の

歩みに窮めん 真理の高嶺

気高き誓いに輝く行手

角の浦回に心身練りて

二、常緑映えては伸びゆく松の

しめすは至誠か 久遠の啓示

夜昼 注ぐ江の川

怒濤万里の日本海

質実剛健 矜も永久に

不撓の雄叫び 競うか我と

我等の学舎 使命は新た

〔昭和一九年五月〕

〔昭和二十五年十一月 修正〕

大和島根

大和島根の岸高く

ざん岩波頭をかむところ

金波銀波にはゆる陽の

丘上高し我が学舎

暁雲匂う星高の

清き心のますらおが

雄たけびついにこだまして

じゆういの袖に涙あり

鉄腕ふるい健脚の

しつかと大地をふみしめる

我らが胸の熱血は

倒れてやまぬ大和魂

江の川流れて三千年

一、江の川流れて三千年

角の浦わの昔より

石見文化の起こるとこ

二、山紫に水清く

松籟軽く渡る中

我らが学舎そびえぬる

三、熱砂えんえん続く浜

怒涛たけりて狂うとこ

双脚のびて体固し

四、見よや白亜の工場を

煤煙空をおおいつつ

産業戦士はぐくまる

潮しよう細き

一、潮しよう細き角の浦

流れもにおう江の川

不屈の色もおごそかに

たてるは剛の我が選手

海原にきたえたる

肉はおどりて血はたぎる

二、鍛える男子なお強し

江工健児意気高し

鍛えに鍛えし腕のさえ

示すはいまぞこの時ぞ

血も凍る気高さに

勝ちて帰れよ我が友よ

百花よそおい

一、百花よそおい鳥歌い

人・玉杯をそそぐとも

「何くそ負けてなるものか

光は我とともにあり

いざ行け若人 学びの道へ」

二、炎熱肌をこがすとも

緑樹のかげに声きくも

「以下同じ」

三、七草野辺に咲き乱れ

名月心に宿れども

「以下同じ」

四、寒月踏んで門を出で

星いただいて帰るとも

「以下同じ」

# 校訓

校訓「質実剛健・不撓不屈」は、平成五年十一月二十二日に制定された。本校は、昭和九年の島根県立江津工業学校・江津工業学校・江津工業学校と名称を変更し現在に至っている。

「質実剛健」は、島根県立江津工業学校・島根県立江津工業学校の綱領及び島根県立江津工業高等学校の教育方針の中にある言葉である。

「不撓不屈」は、島根県立江津工業高等学校の教育方針の中にある言葉である。

また、「質実剛健」「不撓不屈」の言葉は、島根県立江津工業学校・島根県立江津工業高等学校の校歌の一節でもある。



江工会建立（平成6年3月）

## 江工会事務局

所在地 〒695-0011  
島根県江津市江津町1477番地  
島根県立江津工業高等学校 内

電話 (0855) 52-2120  
FAX (0855) 52-2264

令和元年度江工会 理事会・総会出席者

2019年

No.	氏名	卒業年科	理事会	総会	備考
1	土井 正人	S39工業化学科	○	○	会長
2	藤田 厚	S43電気科	○	○	副会長
3	岡本 正友	S46建築科	○	○	副会長
4	福田 稔	S53工業化学科	○	○	副会長
5	佐々木 一郎	S40建築科	○	○	会計監査
6	池田 隆司	S43電気科	○	○	会計監査
7	砂田 忠	S33建築科	○	○	顧問
8	月森 喜一郎	S31工業化学科	○	○	理事
9	西谷 茂	S34建築科	○	○	理事
10	城山 一則	S37機械科	○	○	理事
11	勝田 友治	S38電気科	○	○	関東副支部長
12	大屋 節雄	S38工業化学科	○	○	山口県支部長
13	横田 雪生	S41機械科	○	○	理事
14	佐々木 敏博	S42機械科	○	○	旧職員
15	築橋 良治	S42機械科	○	○	理事
16	道下 良徹	S42機械科	○	○	理事
17	島崎 庄次	S45建築科	○	○	理事
18	板倉 満幸	S53建築科	○	○	理事
19	中本 臣	S53建築科	○	○	関西副支部長
20	佐々木 克	S54建築科	○	○	江津市役所支部長
21	大畑 笙樹	H29建築科	○	○	評議員
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

17 18

No.	氏名	卒業年科	理事会	総会	備考
1	田村 美	S55電気科	○	○	校長(副会長)
2	松原 紀夫				教頭
3	倉本 晃	S51機械科	○	○	事務局
4	三浦 大治	S58機械科	○	○	事務局
5	岩田 泰典	S63電気科	○	○	事務局
6	沖田 照晃	H4電気科	○	○	事務局
7					
8					
9					
10					